

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
AM33Z011		導入 (日本の古典文学を学ぶ) (Introduction (Classical Japanese Literature))					導入教育科目 文化・国際		対面						
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態					
選択		1	1	医学部医学科	前期	金1	日本語			単独					
担当教員	氏名 浅野 則子														
	E-mail asano@mc.beppu-u.ac.jp 内線														
授業の概要	私達は何気なく言葉を使っている。けれども同時に言葉は文化の深い部分にも関わっている。古典文学作品を読み解くことは、作品を理解すると同時に文化を理解することでもある。 身近な古典文学である「百人一首」を丁寧に読み解くことで、時代と文化のあり方を理解すると同時に、時代を超えた日本の心を現在の時点から考える能力を身につける。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 「百人一首」という古典文学を読み解くことにより、日本の古典文学の世界が理解出来るようになる。													○		
目標2 現代と古典文学の世界との関連を理解し、私達が継承していくべき文学のあり方について考えることができる。									○						
目標3 日本の古典文学をとあして、日本の文化について意味を説明出来るようになる。													○		
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									4				6		
授業の内容															
1 百人一首について															
2 百人一首とその時代 : 文学史的背景を理解する															
3 百人一首の歴史 : 百人一首がどのように継承されてきたかを理解する															
4 四季の歌 1 : 春に歌われる景物から季節観を理解する															
5 四季の歌 2 : 夏に歌われる景物から季節観を理解する															
6 四季の歌 3 : 秋に歌われる景物から季節観を理解する															
7 四季の歌 4 : 冬に歌われる景物から季節観を理解する															
8 恋の歌 1 : 恋のはじめの心情を理解する															
9 恋の歌 2 : 相手への思いを伝える表現を理解する															
10 恋の歌 3 : 恋歌における比喩の使い方を理解する															
11 恋の歌 4 : 孤独をどのように歌うかを理解する															
12 人生を考える歌 1 : 社会と自らの関係をどのように歌うかを理解する															
13 人生を考える歌 2 : 自らの心情を表すために使われる比喩を理解する															
14 人生を考える歌 3 : 自らがおかれている時代をどのように和歌では表現するのかを理解する															
15 まとめ															
ラーニング エッセンス ブック	A:知識の定着・確認		○		毎回の授業で、振り返りや質問等のコメントを記入してもらう。				工夫 その 他の						
	B:意見の表現・交換														
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		配布資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する。(10h)												
	事後学修		授業で学習したことを活かし、理解を深める。(10h)												
	想定時間合計		20												
教科書		プリント配布。													
参考書		必要に応じて指示する。													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	テーマごとのレポート		40%	○	○								
	期末テスト		60%	○		○							
注意事項	和歌について鑑賞ではなく、時代に即した理解を心がけて欲しい。												
備考													
リンク													
	URL												